

地域創生の手法検討

芦別高探究活動発表会 1年間の歩み説明

【芦別】芦別高(小形和律校長)はこのほど「探究活動発表会」を同校で開催した。

同校の2年生は、探究活動として8班に分かれ地域創生のための手法を検討するという活動を行っている。いちごチョコアメ、香水、チェリーサイターの開

発を行った商品開発3班、炭鉱文化や観光施設から観光振興について考察を行った2班の

ほか、3班はメニューを考案し道の駅スターライト芦別でカフェ運営に挑戦。発表会では、これまでの活動に協力してきた芦別市地方創生塾塾長および講師や

学校運営協議会委員、保護者などが来場し、生徒の発表を評価した。

冒頭では、10月に実施した高校生カフェを担当した生徒から売上金8万300円が荻原貢市長へ贈呈され、荻原市長は「地域活動やまちづくりに貢献する人材の育成に活用させてもらいたい」と感謝状を手渡していた。

発表では実際にサンプルで製作した香水や自作のパンフレットなどを配布し、各班趣向を凝らして1年間の歩みを発表していた。

【村澤由香里】

